別府市がPCR・抗原検査センターを開設

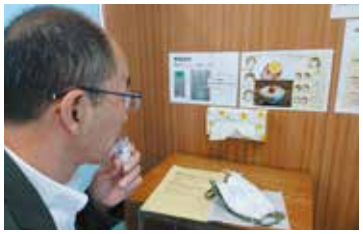
6月23日㈬、別府市においても、PCR検査（遺伝子検査）と抗原検査ができるセンターが別府市山の手町の旧山の手中学校跡地に開設されました。

対象は無症状の市民や市内の通勤・通学者で、観光客も結果が早く出る抗原検査を受けられます。予約不要で無料、午前10時から午後7時（受け付けは午後6時半）まで行われています。

さっそく私も伺い、PCR検査を受けました。検査手続きは、住所・名前・連絡先などを記入するだけで簡単でした。（身分証明書も必要）

PCR検査は唾液を専用の容器の中に採取。抗原検査を選んだ人は動画の説明を見ながら鼻の中を綿棒で拭います。

県内の自治体では大分、宇佐両市が抗原検査センターを設けていますが、精度の高いPCR検査も併せてできるセンターは初めてとのことです。



お見苦しい写真でごめんなさい…

STOP! 地球温暖化防止 パネルスタンディング行動に参加

6月10日㈭、立命館アジア太平洋大学の学生の冨原宏樹さん、木場悠理さんと私の3人で、「ストップ気候危機！自治体議員による気候非常事態・共同宣言の会」に連帯し、パネルスタンディング行動を別府駅前で行いました。冨原さんは環境問題に取り組むフライデーズ・フォー・フューチャー大分の代表です。

「ストップ気候危機！自治体議員による気候非常事態・共同宣言の会」は全国的な組織で、その名の通り気候変動や地球温暖化などの環境問題について、国や全国自治体に早急な取り組みを求める運動を展開しています。

県民クラブでは私を含めて7名の議員がこの会に入っていて、全国統一行動日として設定された6月10日に、全国100箇所を目標に地球温暖化防止を訴えるパネルを持ってアピールする取り組みを行いました。

県内では、大分市、中津市、佐伯市、豊後大野市でも行われました。各地の取り組みを御覧ください。

大分市

大分市では、平岩純子県議、浦野英樹県議、甲斐高之・大分市議、緑の党おおいたの小坂正則さん方が参加。

中津市

中津駅前では、馬場林県議と吉村尚久・中津市議の2人が行動しました。

佐伯市

佐伯市の商店街で行動したのは、400mハードルでオリンピック出場経験のある成迫健児県議さん方です。

豊後大野市

豊後大野市では、活動の中心となっている玉田輝義県議や原田健藏・豊後大野市議さん方が参加。